

2010年(平成22年)7月7日(水曜日)

北総線運賃 値下げ問題 合意の枠組み維持へ

県と6市が急きよ関係者会議

北総線運賃値下げ問題 枠組みを維持し、白井市支
で、県と沿線自治体の合意 出分については県と同市で
に基づく白井市負担分の補 対応を協議していく方針を
助金約2600万円の支出 申し合わせた。
を同市議会が認めなかった 会議では、横山久雅子白
ことを受け、県と関係6市 井市長がこれまでの経過を
の副市長らを集めた関係者 説明し、2度にわたる議会
会議が6日、県庁で急きよ の否決について「関係団体
開催された。今後の対応に にご迷惑を掛け大変申し訳
ついて、これまでの合意の ない」と陳謝した。

県交通計画課によると、
横山市長は、今月17日から
スタートする運賃値下げを
控え「他市の住民に迷惑が
掛かるため、白井市として
も負担の必要がある」との
認識を示した上で「これか
ら鉄道会社と協議していき
たい。もう少し時間がほし
い」と理解を求めた。
また、県と同市のほか市
川、印西、鎌ヶ谷、船橋、
松戸の計6市で北総鉄道に
対し年間計3億円を5年間
補助することなどで合意し

た枠組みは維持し、白井市
を除く5市は合意通りの負
担額を支出する方針を申し
合わせ、各市に持ち帰って
検討する。
予算措置されていない白
井市支出分については、同
市と県で対応を協議するこ
とで一致した。県交通計画
課は「17日の期限まで協議
する時間が少ないので、ま
ず鉄道会社に期限を猶予し
てもらおう」と白井市と共に
働き掛けていきたい」とし
ている。

県と6市が会議

北総線の運賃 値下げ問題で

北総線の運賃値下げ
問題で、値下げのため
の補助金支出で合意し
ている県と沿線6市は
6日、県庁で会議を開
き、補助金支出の予算
案が市議会で認められ
なかった白井市の横山
久雅子市長があらため
て経緯などを説明し
た。

横山市長は会議後、
報道陣に「今後は県と
北総鉄道と協議した
い。市民に値下げを突
感してもらい、市民に
も考えてほしい」と話
した。

県交通計画課による
と、合意の枠組みと各
自治体の負担額を変え
ず、白井市の負担額は
同市と県が協議する方
針。同課は「十七日が
北総鉄道に補助金の文
書を渡す期限で、まず
その期限を延長しても
らわない」としてい
る。

(小林孝一郎)

2010年(平成22年)7月7日(水曜日)